

# まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

114号

2009年11月24日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

## ○ 藤和マンション行政訴訟

次回 12月3日(木) 11:30~

東京地裁 522号法廷

11月26日までに、双方で書面のやり取りがあります。私たち原告からは、アンケートを取り、訴えたい趣旨をまとめて提出する予定。

後世から振り返ったとき、東京中に醜い建物を建てた愚かさを必ず悔やむことになるでしょう。この時代の失政の記念碑には違いないが、今後何十年もこんな駅前の景観を我慢しなければならぬのは情けないことです。

## ○ 板橋区都市建設委員会傍聴記

11月19日(木) 都市整備委員会が開かれた。今年の委員会メンバーは大事な陳情でもそそくさと終わらせるように思われる。

常盤台の環境と景観に関する陳情も、わずか9分の審議だった。委員からの質問は、しゃれ街協議会の行った建築行為の協議内容についてのみ。区の担当者は内容を承知して、とんちんかんな答弁しかできなかった。いつもながら陳情者は蚊帳の外。区の役人が各地の実情など説明できるはずがないのに。今行われている事業仕分けのように、全てを情報公開し、TVで放映すればいかが。

隣の上板橋で難航している例の開発事業は、12月26日、東京都の見直し事業の一つとなることが決定。いまだに6割しか賛同が得られていない。委員の意見は、区役所南館の建替えさえ断念の声があるような財政難の中で、140億の巨費は認められないとか。

## ○ 駅前でボヤ騒ぎ

11月22日(日) 午前8時ごろ、日曜日の朝の静かなまちに消防車のサイレンが鳴り響きました。常盤台駅のそば屋店舗の排気ダクトから火が吹いたとか。幸い大事には至らなかったようですが、消防車10台位がロータリーに並びました。平日で踏切が閉まっていたら、と不安です。

## ○ クリスマスキャロルで ロータリーコンサート

今年も常盤台バプテスト教会聖歌隊によるクリスマスキャロルのロータリーコンサートが行われることになりました。

12月20日(日) 午後5時15分~  
常盤台駅北口ロータリー

キャンドルサービスを行うか否かで議論あり。拍手ができないのです。しかし、聖歌隊の方の意見では、教会での演奏でも拍手はしないそうなので、続けることになりました。

一緒に楽しい歌を歌いませんか?

## ○ セピア色の写真

一枚のセピア色の写真があります。昭和24年に、常盤台公園で写されたもの。当時の学生会の若者たちが、小中学校を集めて、演芸会をした後らしく、芝居の扮装のままの子供たちを中心に5、60人ぐらいが並んでいます。みんな今は60代70代で、常盤台に今も住んでいる人が少なくありません。

この写真をメインに、懐かしい昔の常盤台展を来年3月ごろ開こうと企画中です。

何とか全員の名前を調べたいので、昔からお住まいの方には確認にご協力願うかと思いますが、よろしく願いいたします。

これは2丁目のTさんが大事にしまっておいた写真ですが、3丁目のWさんからも同じ写真の提供がありました。このような古い写真がありましたらお教え下さい。

## ポローニヤとの合唱交流

今年七月、静岡の常葉学園での合唱祭に参加するため、イタリア・ポローニヤのヴェルディ合唱団が来日しました。

その際、板橋区立美術館が行なっているポローニヤの絵本展の関係で、板橋区立常盤台小学校合唱団との親善交流がありました。美術館での相互の演奏のあと、天祖神社で和太鼓演奏やバーベキューなどを楽しんで帰国して行きました。

遠いイタリアの都市と常盤台の子供たちが、合唱を通じて豊かな交流を続けることになれば素晴らしいですね。

## 東京新聞、常盤台を取り上げる

すでに気づいた方がいらっしやるかもしれませんが、十一月十四日(土)の東京新聞朝刊に常盤台が取り上げられました。

P32の「どんぶらこ」という欄で、数年前にも常盤台取材しています。

ただ、今回の記事で気になったのは、クルドサックをカルドサックと表記していることでした。

これは元々フランス語(cul-de-sac)で、袋小路を意味するものですが、アメリカ式にでも発音しているのでしょうか。常盤台に関する記述でカルドサックという表記は他にもなされているのでしょうか。ご存知でしたら編集部までお知らせ下さい。

## むかしぼなし(35)

私は小さい四、五歳のころから花が大好きで、常盤台のあちこちの花を見て歩きました。

常盤台の家は大抵、低い大谷石の石組みの上に、芝を貼った土手があり、その上は竹垣とが生垣になっていました。色とりどりのつつじが咲いていたり、様々な花が楽しめました。

私はなぜかツツジの花の雌しべに、周りの雄しべの花粉をつけ、交配のお手伝いみたいなことをするのが好きでした。花粉が納豆の様に糸を引くのが面白いのです。

家から少し遠出して、あるお家の生垣のつつじの花に触った途端、ものすごいショックを受け、あまりの痛さに何が起きたか分からない程でした。一匹の蜂が飛び立ったのは覚えていません。ただワンワン泣いていると、その家の人たちが出てきて、「どうしたの?どこの子なの?」と尋ね、「ああ、これは蜂に刺されたんだね」と薬をつけ、母を呼んでくれました。なんと幸いなことにお医者さんの家だったのです。

常盤台の内規に、診療所だけは住宅地で営業してよいということになっていたようですが、お医者さんが身近にあるのはそのころから有難いことでした。

私が花を取ろうとしていたのではないかと思われ、恐縮した母からも叱られましたが、先述の楽しみを説明しても、大人は理解しないだろうと子供心に判断し、黙っていました。今なら説明できるようなことでも、子供は黙って諦めていることがあるものです。

H・S

## 常盤台公園の花づくり

チューリップの球根を無事植えつけました。今年は新しい球根三〇〇球と去年の残り二〇〇球ぐらい。植え付け当日は雨の予報。でも夕方まで何とか降らずに済み、日ごろの行いが良いから、と皆で勝手に納得しました。

区からの提供の苗も植えました。随分沢山頼んだので、気が引けましたが、植えてみると決して多くはなく、改めて私たちが受け持っている花壇の広さを感じました。

球根の芽がまっすぐ伸びるように、柔らかい土をかけてあるのですが、それをよいことに野良猫がトイレに来たり、心無い人がまく餌を啄ばみに鳩がけ散らかすので、Tさんはネットをかけたか、かごを伏せたり、いろいろ苦労しています。

芝刈り機と芝の根きり機を買ってあるので、公園の掃除道具入れに保管して良いことになり、さび付かせる恐れが無くなりました。以前から道具入れには毎週月曜日に掃き掃除をしてくれる老人会の箒・塵取りが入っているのですが、中を整理して空所を作って頂きました。公共のことですので、同居をよろしくお願ひします。

定例会 十二月十九日(土) 七時

「ギャラリー服部」にて